

# 香港株式市場フラッシュ

## 対中国半導体輸出規制強化と中国 AI 半導体銘柄への期待

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: [kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp](mailto:kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp)

フィリップ証券株式会社

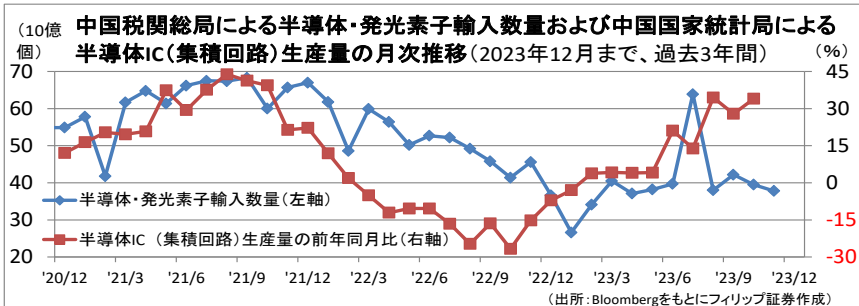
2024年2月7日号(2月7日作成)

### ”米国の対中国半導体輸出規制の動向と今後“

米バイデン政権による対中国半導体輸出規制は、先端半導体の軍事転用への懸念から2022年10月に開始された。対象は回路線幅が14ナノメートル(nm)以下とされ、半導体製造装置に強い日本やオランダも従った。中国半導体産業が窮地に陥ったかと思われたが、中国通信機器大手ファーウェイが昨年8月に販売開始した5G通信対応の新型スマホに半導体受託製造(ファウンドリ)の**中芯国際集成电路製造[SMIC](981 香港)**が中国で生産した7nmの先端製品が採用されていた。危機感を強めた米政府は昨年10月、対中国先端半導体の輸出規制を強化した。

中国税関総局による半導体の輸入量は昨年7月に半導体の輸入量が急増していたが、AI(人工知能)向けに必要な米エヌビディアのGPU(画像処理半導体)の輸出規制も強化され、翌月以降は再び減少した。その一方で、中国は自国内で半導体サプライチェーン(供給網)内製化を着実に進めており、対中国半導体輸出規制に抵触しない半導体IC(集積回路)の生産量が増加基調にある。

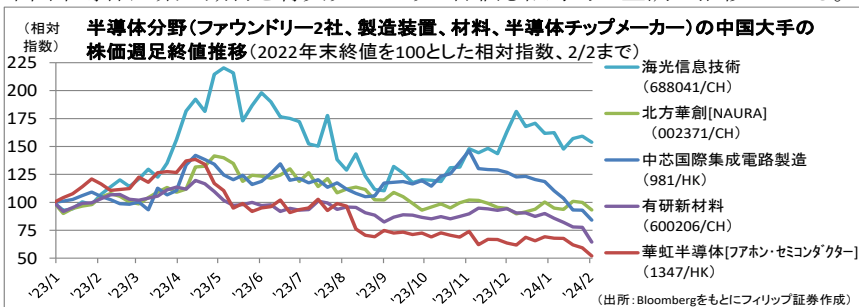
生産増加が中国からの安値での半導体輸出拡大に繋がるとして、米商務省は28nm以上の旧世代である「レガシー半導体」についても今年1月から開始した調査終了後に関税引上げなどの貿易制限措置に踏み切る可能性が高いとみられる。AI関連の先端半導体の世界の半導体全体に占める割合は数パーセントに過ぎず、レガシー半導体への貿易制限のほうが世界的な影響が大きいと見るべきだろう。



### ”中国半導体関連株価の軟調、および希望の光となる銘柄“

半導体自給を目指す中国政府は、政府系ファンド(中国集成电路産業投資基金)を通じて中国大手メーカーへ資金を供給。中芯国際集成电路製造は昨年9月、2023年12月期の投資額を期初に比べ2割近く上方修正を発表。ファウンドリ第2位の**華虹半導体[7700.HK]**(1347 香港)も昨年6月末、無錫市で12インチのウエハ対応第2工場(総投資額67億ドル)建設に着手した。政府系の中国半導体製造装置最大手の**北方華創科技集団[NAURA](002371 深セン)**も半導体製造装置で70%以上の自給率とする政府目標に向けて技術開発に注力。半導体材料メーカーの**有研新材料(600206 上海)**も生産能力増強に取り組む。ただ、これら設備投資強化は足元でコスト増が高むことから、株価は下落傾向にある。

他方、エヌビディア製品調達に難しかった中国のAI関連大手が半導体の中国産への切り替えを急ぐなか、**海光信息技术(688041 上海)**は昨年秋、新たなAI半導体の出荷を始め、百度やアリババとAIインフラ構築の取組を進めていると公表。中国半導体産業の期待を背負うかのように株価も相対的に堅調に推移している。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20240123 基準日: 20240206

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	網易 [ネットイース]	17.7	2
2	中国海洋石油 [CNOOC]	13.1	4
3	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	12.1	5
4	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	10.9	14
5	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	10.4	6
6	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	10.0	10
7	海爾智家 [ハイアールスマートホーム]	9.3	12
8	招商銀行	8.6	8
9	東方海外国際 [オリエント・オー・シー]	8.4	1
10	長江基建集團 [チョンコン・インフラストラクチャーHDS]	8.3	3

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	小鵬汽車	-41.0	95
95	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-39.8	94
94	蔚来汽車[ニオ]	-39.3	96
93	萊明生物技術 [ウーシー・バイオリジクス・ケイマン]	-38.6	13
92	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-35.2	87
91	舜宇光学科技(集团) [サニーオプティカル・テクノロジー]	-29.0	72
90	ZhongAn Online P&C Insurance	-28.5	91
89	金蝶國際軟件集團 [キングディー・ソフトウェア]	-27.6	73
88	阿里健康信息技術 [アリババヘルス・インフレーション・テクノロジー]	-26.6	90
87	JD Health International Inc (京東健康)	-25.9	92

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2024年1~2月中国主要経済指標】

- 1月27日(土)
  - ・1-12月工業利益: 前回▲4.4%、結果▲2.3%
- 1月31日(水)
  - ・1月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0、結果49.2
  - ・1月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.4、結果50.7
- 2月1日(木)
  - ・1月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.8、結果50.8
- 2月5日(月)
  - ・1月(財新)サービス部門PMI: 前回52.9、結果52.7
- 2月7日(水)
  - ・1月外貨準備高: 前回3.23兆USD
- 2月8日(木)
  - ・1月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回▲0.3%
  - ・1月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.7%
- 2月9-15日(金~木)
  - ・1月資金調達総額: 前回1.94兆元
  - ・1月新規人民元建て融資: 前回1.17兆元
  - ・1月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+9.7%
- 2月20日(火)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.20%
- 2月23日(金)
  - ・1月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.45%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。